

暮らしの中に香りを取り入れている方も多いことでしょう。  
今回は、いまや海外でも注目されているという日本のお香文化について  
ご紹介します。  
独特の香りによる癒し、精神的にとぎすまされる神聖さといった魅力を知って、  
生活の中で気軽に楽しんでみませんか？



### 【歴史と文化的背景】

日本のお香文化の歴史は古く、一番古いものは平安時代以前からあり、中国から仏教伝来とともに伝わった  
と言われています。そのため白壇(びやくだん)や丁字(ちようじ)、桂皮(けいひ)など中国の香文化と共通の  
材料が多く使われています。

最初は、現代のお線香のように宗教の儀式に使われていたのですが、平安期になると、「空薫物(そらだき  
もの)」という香りを楽しむ貴族の趣味のひとつとして流行しました。その後、東山文化の時代になると、  
「香道」と呼ばれる、一定の作法に従って香を鑑賞する独自の芸道ができ、茶道、華道などとともに栄え、  
現代まで脈々と受け継がれています。

### 【お香の原料と効用】

お香は天然の植物を原料としているので、漢方薬にも使われるものが多いのが特徴です。体への刺激が  
少なく安心して楽しむことができ、自然由来の香りがかぐことにより鎮静作用や意識を鋭敏にする効果  
があるといわれています。リラックスやリフレッシュ効果のほか、お部屋のニオイ対策や防虫など実用的  
にも使えます。

お香の選び方は、原材料に不純なものが含まれていないものがベスト。好みでいくつか試してみて、好きな  
香りやシーンに応じた香りを探していくと良いでしょう。

### 【お部屋での楽しみ方】

お香のスティック型やコーン型が代表的です。型に合わせて、香皿や香立てをいくつか用意しましょう。  
家具のイメージに合わせて飾っておくだけでも素敵なインテリアになります。

洋風のお部屋でお香が雰囲気にとぐわない場合は、い草のラグや焼き物の花瓶など和風のファブリック  
などをインテリアに取り入れると、違和感なくお部屋のイメージに溶け込みます。

玄関は、お客様を迎える日などに軽く焚いておくことで消臭対策にもなり、印象アップに  
つながります。リビングでの家族団らんのときにさりげなく香るのも落ち着きますね。

食後のお茶やお酒を飲む時間に焚き、楽しんでみると良いでしょう。

寝室で楽しむ場合はお休み前に焚くのがおすすめです。リラックス効果はもちろん、  
寝具に香りに移り安眠できます。火の元には十分気をつけてください。

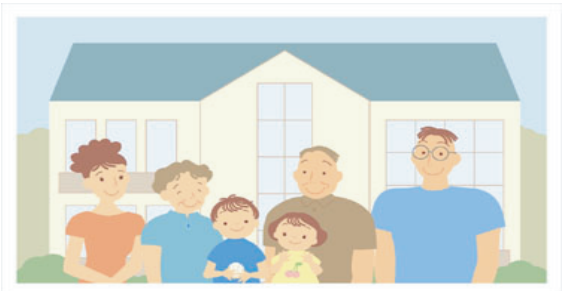


### 【手作りのお香にチャレンジ】

市販のお香を楽しむ以外に、専門のショップや通信販売を利用して原料を購入し、自分で調合することも  
できます。

お香の材料を使って懐かしの「匂い袋」を作ることができます。

お香の材料を木綿の布できつく包んで縫いつけ、さらに巾着型の外袋を作って口をきつく縛るだけです。  
消臭効果と防虫効果があるので、タンスやバッグに入れておくのに重宝します。



TOYAスマイル倶楽部事務局  
今治市玉川町中村甲677-7  
有限会社十弥工務店内  
TEL (0898)36-8182  
FAX (0898)36-8183  
E-mail : toya-info@toya.co.jp